

2024 年度までのジュニア・フェロー一覧

2024

- ・ 日高 晋介 中央アジアにおけるチュルク諸語のモダリティ体系の解明 K
- ・ 松山 啓 大相撲の世界における力士の身体知に関する人類学的研究
- ・ 村上 武則 インド北東部の言語記述

2023

- ・ 井堂 有子 中東地域と「社会契約」の刷新—エジプトの食糧・再分配・福祉制度を中心に
- ・ 大津谷 馨 中近世インド洋世界と紅海世界の学術交流：インドに所蔵されるメッカ・メディナ関連のアラビア語写本に着目して
- ・ 岡本 圭史 宗教現象の再画定をめぐる文化人類学的研究—ケニア海岸地方ドゥルマ社会のキリスト教と悪魔崇拝言説
- ・ 久保 亮輔 信託財産の運用をめぐる比較文明史的研究の基盤構築に向けての試論：ワクフの事例
- ・ 谷口 晴香 ニホンザルの育児の地域間比較—子供の集まりに着目して
- ・ 沼田 彩誉子 東アジア生まれタタール移民のオーラルヒストリー
- ・ 早川 卓亜 エドゥアール・グリッサンの著作における奴隷制の記憶

2022

- ・ 上澤 伸子 南アジアにおける水の文化—バングラデシュのため池に着目して—
- ・ 幸加木 文 トルコにおける宗教の政治化と国内外の市民社会への影響に関する研究
- ・ 谷 憲一 現代イランにおける宗教とナショナリズムの緊張関係に関する人類学的研究
- ・ 深谷 康佳 オーストロネシア語族ケラビット語バリオ方言の記述文法，テキスト収集整理
- ・ 康 陽球 ベトナム南中部山地民の宗教実践の変容—経済活動との関連から

2021

- ・ 上林 朋広 20 世紀南アフリカにおける歴史叙述と人種隔離政策：アフリカ人統治と抵抗運動におけるズールー人の「伝統」の利用
- ・ 工藤 昭子 在日ムスリム社会における社会適応と地域日本語教育—東京都北区のバングラデシュ・ムスリム社会の事例から—
- ・ 高尾 賢一郎 現代ムスリム社会における宗教と公共圏の関係についての思想・制度に関する研究
- ・ 浜本 一典 アメリカにおけるムスリム・チャプレンの社会的意義と神学的基礎
- ・ 森 天真 17 世紀オスマン帝国の旅行家エヴリヤ・チェレビの『旅行記』の日本語訳と注釈
- ・ 山西 弘朗 台湾先住民村落における災害に関する文化人類学的研究

2020

- ・ 足立 享祐 近代マラーティー語による言語空間の形成
- ・ 石黒 芙美代 言語と美術の関係性—少数言語の民話絵本の実践的研究
- ・ 上田 新也 ベトナム・タムザンラグーン周辺域の環境史についての基礎的考察
- ・ 太田（塚田） 絵里奈 前近代アラブ社会における文民エリートと生存戦略：マムルーク朝末期官僚名家ムズヒル家を例に
- ・ 黒田 有誌 18 世紀後半チベットに対する清朝の司法支配の実態
- ・ 合地 幸子 インドネシア・ジャワにおける高齢者ケアをめぐる家族・親族関係に関する研究
- ・ 後藤 健志 自然の所有／領有をめぐる技術—生態誌的探究
- ・ 南波 聖太郎 デタント期のラオス・ベトナム関係と中国

- ・ 松井（金子） 生子 カンボジアにおける結婚制度と人的つながりの形成—ベトナム人とクメール人の関係を中心に—
- ・ モリ アルベルトゥス・トーマス 「華人キリスト者」という自己主張を巡る人類学的研究

2019

- ・ 生駒 美樹 負債の民族誌—茶をめぐる生産者間の関係
- ・ 岩本 佳子 公文書史料によるオスマン朝の遊牧民政策の研究
- ・ 勝畑 冬実 エジプト映画におけるイスラーム表象の変遷
- ・ 河合 文 環境変化下における狩猟採集民の社会関係の解明：マレーシア半島部のバテッの移動性に注目して
- ・ 西川 和孝 西南中国における漢字リテラシーの普及
- ・ 平田 晶子 タイの知的財産権をめぐる技芸の「所有」に関する人類学的研究
- ・ 松岡 薫 日本の民俗芸能における審美的基準に関する民俗学的研究：北部九州の俄を事例に

2018

- ・ 池田 昭光 レバノン高齢社会の人類学的研究：親族・国外移民・家事労働者
- ・ 小池 まり子 現代バリの社会・宗教改革運動：バリヒンドゥー教徒の親族集団組織を事例として
- ・ 東風谷 太一 1840 年代のバイエルン王国ミュンヘンで発生したビールをめぐる騒擾を都市の営業体制・権利概念・ビールと醸造業の表象の視点から考察すること
- ・ 小森 真樹 現代アメリカ合衆国における科学館の再定義：博物館展覧会の利用実態の分析から
- ・ 四條 真也 島嶼地域における伝統の再解釈：米国制度下のハワイにおける伝統的養取慣行に関する社会人類学的研究
- ・ 澁谷 俊樹 ベンガルの市場の生活世界をめぐる歴史人類学研究
- ・ 武田 祥英 英国の中東委任統治政策再検討—19 世紀以後の中東政策との連続性の観点から
- ・ ハーヴィー アンドリュー ディビッド イハNZ語（バントゥ系）の記述
- ・ 烏雲高娃（ウユンゴワ）近代内モンゴル知識人の文化活動

2017

- ・ 麻生 玲子 琉球諸語八重山語波照間方言の記述研究，大量のデータに対し情報技術を活用した新たな言語研究手法の開発
- ・ 新谷 崇 イタリア領東アフリカにおける植民地統治と宗教の問題（1935～1941 年）
- ・ 池田 昭光 レバノン高齢社会の人類学的研究：親族・国外移民・家事労働者
- ・ 生駒 美樹 負債の民族誌—茶をめぐる生産者間の関係
- ・ 海老原 志穂 現代方言と文献を用いたチベット語の比較研究
- ・ 大島 一 ハンガリー周辺地域のハンガリー語方言における言語接触
- ・ 勝畑 冬実 エジプト映画における近現代イスラーム改革思想の表象
- ・ 加藤（山内） 珠比 サブサハラアフリカの農業投入財補助金政策の歴史的変換—タンザニアを例に
- ・ 倉部 慶太 ジンポー語のアーカイビングとコーパス構築およびそれらを利用した研究
- ・ 小池 まり子 現代バリの社会・宗教改革運動：バリヒンドゥー教徒の親族集団組織を事例として
- ・ 東風谷 太一 1840 年代のバイエルン王国ミュンヘンで発生したビールをめぐる騒擾を都市の営業体制・権利概念・ビールと醸造業の表象の視点から考察すること

- ・ 小森 真樹 現代アメリカ合衆国における科学館の再定義：博物館展覧会の利用実態の分析から
- ・ 四條 信也 島嶼地域における伝統の再解釈：米国制度下のハワイにおける伝統的養取慣行に関する社会人類学的研究
- ・ 澁谷 俊樹 ベンガルの民衆文化をめぐる歴史人類学的研究
- ・ 竹村 和朗 現代エジプトのワクフに関する国家法（カーヌーン）の研究
- ・ 西川 和孝 西南中国における漢族移民と経済活動の歴史について
- ・ 三代川 寛子 近代エジプトにおけるコプトのファラオ主義と人種主義
- ・ 烏雲高娃（ウユンゴワ） 近代内モンゴル知識人の文化活動
- ・ 周太加（ジュクタルジャ） 青海近代史

2016

- ・ 新谷 崇 イタリア領東アフリカにおける植民地統治と宗教の問題（1935～1941 年）
- ・ 池田 昭光 レバノン高齢社会の人類学的研究：親族・国外移民・家事労働者
- ・ 稲山 円 イランにおける女性の宗教実践に関する人類学的研究
- ・ 海老原 志穂 現代方言と文献を用いたチベット語の比較研究
- ・ 大島 一 ハンガリー周辺地域のハンガリー語方言における言語接触
- ・ 大塚 行誠 ミャンマーおよびインド北東部におけるクキ・チン諸語の研究
- ・ 小山内 優子 『捷解新語』の日朝対照言語学的研究
- ・ 勝畑 冬実 エジプト映画における近現代イスラーム改革思想の表象
- ・ 加藤 敦典 ベトナムにおける高齢者ケアの思想・制度・実践についての文化人類学的研究
- ・ 栗田 知宏 東アフリカ系ブリティッシュ・エイジアンのエスニック・アイデンティティに関する調査研究
- ・ 小池 まり子 現代バリの社会・宗教改革運動—バリヒンドゥー京都の親族集団組織を事例として—
- ・ 小林 貴幸 東アジアにおける社会集団の構造と対人関係に関する比較
- ・ 四條 信也 島嶼地域における伝統の再解釈—米国制度化のハワイにおける伝統的養取慣行に関する社会人類学的研究
- ・ 澁谷 俊樹 ベンガルの民衆文化をめぐる歴史人類学的研究
- ・ 竹村 和朗 現代エジプトのワクフに関する国家法（カーヌーン）の研究
- ・ 西村（西野） 範子 ベトナムの国際社会参画時代における内政と対中国関係の変動
- ・ 烏雲高娃（ウユンゴワ） 近代内モンゴル知識人の文化活動
- ・ 周太加（ジュクタルジャ） 青海近代史
- ・ ファクレジャハニ アレズ イランと中東他国との関係，そして，相違

2015

- ・ 新谷 崇 イタリア領東アフリカにおける植民地統治と宗教の問題（1935～1941 年）
- ・ 池田 昭光 レバノン高齢社会の人類学的研究：親族・国外移民・家事労働者
- ・ 稲山 円 イランにおける女性の宗教実践に関する人類学的研究
- ・ 大島 一 ハンガリー周辺地域のハンガリー語方言における言語接触
- ・ 大塚 行誠 ミャンマーおよびインド北東部におけるクキ・チン諸語の研究
- ・ 勝畑 冬実 エジプト映画における近現代イスラーム改革思想の表象
- ・ 菅野 美佐子 インド北部におけるジェンダー規範の変容—想像と実態のはざまの生活世界—

- ・ 栗田 知宏 東アフリカ系ブリティッシュ・エイジアンのエスニック・アイデンティティに関する調査研究
- ・ 小林 貴幸 東アジアにおける社会集団の構造と対人関係に関する比較
- ・ 西村（西野） 範子 ベトナムの国際社会参画時代における内政と対中国関係の変動
- ・ 宮本 隆史 近代インド社会における犯罪と刑罰の認識
- ・ 周太加（ジュクタルジャ） 青海近代史―アムドにおけるチベット人の文化活動を手掛かりとして
- ・ ファクレジャハニ アレズ イランと中東他国との関係、そして、相違

2014

- ・ 池田 昭光 「移動」への視点――レバノン人に学ぶ
- ・ 稲山 円 イランにおける女性の宗教実践に関する人類学的研究
- ・ 鳥山 純子 人間の移動における教育機関の意義―現代カイロの私立学校を事例に
- ・ 勝畑 冬実 エジプトにおける近現代イスラーム改革思想の展開～「シャリーアの意図」概念を中心に～
- ・ 栗田 知宏 東アフリカ系ブリティッシュ・エイジアンのエスニック・アイデンティティに関する調査研究
- ・ 小林 貴幸 東アジアにおける社会集団の構造と対人関係に関する比較
- ・ 古谷 伸子 タイにおける民間治療師実践の変容と医療システムの再編に関する研究
- ・ 西村（西野） 範子 ベトナムの国際社会参画時代における内政と対中国関係の変動
- ・ 宮本 隆史 近代インド社会における犯罪と刑罰の認識
- ・ 朱 海燕 近現代中国西南部のキリスト教の普及について
- ・ 申 才恩 The Dynamics of Religious Organizations in Assam: Śaiva cult among the ruling families of tribal origin
- ・ ティツィアーナ カルピ コーパスに基づいた CALL（コンピュータ支援語学学習）の評価と SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サイト）の有効性
- ・ ファクレジャハニ アレズ イランと中東他国との関係、そして、相違

2013

- ・ 阿部 優子 スワヒリ語話しことばコーパスを用いた方言研究（世代間方言および地域方言）
- ・ 池田 昭光 「移動」への視点――レバノン人に学ぶ
- ・ 稲山 円 イランにおける女性の宗教実践に関する人類学的研究
- ・ 梅村 絢美 診療における言語発話の不在が患者の病いの経験に与える影響にかんする人類学的研究
- ・ 大久保 由理 戦時期日本の南方移民研究
- ・ 久保 明教 社会空間においてテクノロジーが果たす役割に関する人類学的研究
- ・ 古谷 伸子 タイにおける民間治療師実践の変容と医療システムの再編に関する研究
- ・ 佐久間 寛 ニジェール西部農村地帯における地縁組織と当地倫理の連関をめぐる民族誌学的研究
- ・ 澤井 一彰 近世オスマン朝社会における物資流通とイスタンブル
- ・ 長崎 郁 コリマ・ユカギール語およびセリクーブ語のドキュメンテーションと記述研究
- ・ 馬場 淳 ローカルな社会性・ジェンダーと国際人権レジームの相互作用に関する人類学的研究
- ・ 宮本 隆史 近代インド社会における犯罪と刑罰の認識

- 吉松 久美子 カレン族移動の民族誌
- 吉村 貴之 第二次大戦後のアルメニア「祖国帰還」運動とナショナリズムの変容
- 賽漢卓娜（サイハンジュナ）女性の結婚移動（日中国際結婚，東アジアにおける国境を越えた女性移民）
- 申 才恩 The Dynamics of Religious Organizations in Assam: Conflicts and Negotiations among the Śāktas, the Neo-Vaiṣṇavas and Tribal Groups
- ERB, Jason William 時間意識と感性
- LINKHOEVA, Tatiana 帝国期の社会主義：日本左翼とロシア革命（1905～25 年）

2012

- 大久保 由理 戦時期日本の南方移民研究
- 辛嶋 博善 モンゴル国遊牧社会の研究
- 佐久間 寛 ニジェール西部農村地帯における地縁組織と当地倫理の連関をめぐる民族誌学的研究
- 櫻田 涼子 マレーシア華人社会における「伝統食」と「国民食」の創造
- 澤井 一彰 近世オスマン朝社会における物資流通とイスタンブル
- 常田 道子 タイにおけるムスリム・コミュニティ 他
- 馬場 淳 ローカルな社会性・ジェンダーと国際人権レジームの相互作用に関する人類学的研究
- 伏木 香織 音と「もの」と人の連関性
- 吉松 久美子 カレン族の民族誌
- 吉村 貴之 第二次大戦後のアルメニア「祖国帰還」運動とナショナリズムの変容
- 賽漢卓娜（サイハンジュナ）中国における女性結婚移民の移動に関する研究
- 申 才恩 The Dynamics of Religious Organizations in Assam: Conflicts and Negotiations among the Śāktas, the Neo-Vaiṣṇavas and Tribal Groups
- 柳 宗伸 文化運動としてのお伽噺に関する研究
- 林 虹瑛 遠隔教育法，言語文化に関する歴史的資料の復元，公開，活用についての研究：ブヌン語の事例から
- ナラン 内モンゴルの砂漠化が進行している地域の生業活動の持続性に関する研究
- BONEA, Amelia 19 世紀インドにおける新聞と通信ネットワーク：電報技術を中心に
- LINKHOEVA, Tatiana 帝国期の社会主義：日本左翼とロシア革命（1905～25 年）

2011

- 今堀 恵美 社会主義後のウズベキスタンにおけるハラールとハラームの展開
- 大久保 由理 戦時期日本の南方移民研究
- 尾崎 俊輔 フランス植民地における帰化の研究：アルジェリアを中心に
- 梶丸 岳 民族誌記述による一般歌掛け論の人類学的構築
- 辛嶋 博善 モンゴル国遊牧社会の研究
- 齋藤 久美子 近世オスマン朝下におけるティマール制の研究
- 坂田 晴奈 フィンランド語の非定形動詞の研究
- 櫻田 涼子 マレーシア華人社会における「伝統食」と「国民食」の創造
- 佐久間 寛 ニジェール西部農村地帯における地縁組織と当地倫理の連関をめぐる民族誌学的研究
- 常田 道子 タイにおけるムスリム・コミュニティ 他

- ・ 馬場 淳 ローカルな社会性・ジェンダーと国際人権レジームの相互作用に関する人類学的研究
- ・ 福島 康博 イスラム金融, マレーシアの社会経済
- ・ 伏木 香織 音と「もの」と人の連関性
- ・ 溝口 大助 マリ共和国カディオロ県セヌフォ社会における宗教実践と社会性
- ・ 妙木 忍 現代日本女性のライフコース選択に関する研究, 身体の展示をめぐる理論的・実証的研究: 博物館から観光まで
- ・ 森田 健嗣 戦後台湾における台湾先住民「国語」教育史研究: 近代日本の排除と近代中国への転換
- ・ 吉松 久美子 カレン族の民族誌
- ・ 吉村 貴之 第二次大戦後のアルメニア「祖国帰還」運動とナショナリズムの変容
- ・ 渡部 良子 書記術文献の分析によるペルシャ語文書・財務行政技術の発達に関する研究
- ・ 賽漢卓娜(サイハンジュナ) 中国における女性結婚移民の移動に関する研究
- ・ 張 盛開 漢語平江方言の音韻及び文法の体系的研究
- ・ 柳 宗伸 文化運動としてのお伽噺に関する研究
- ・ 林 虹瑛 遠隔教育法, 言語文化に関する歴史的資料の復元, 公開, 活用についての研究: ブヌン語の事例から
- ・ ナラン 内モンゴルの砂漠化が進行している地域の生業活動の持続性に関する研究

2010

- ・ 今堀 恵美 社会人類学, 民族誌学
- ・ 海老原 志穂 チベット語方言学
- ・ 尾崎 俊輔 フランス移民史
- ・ 辛嶋 博善 文化人類学
- ・ 齋藤 久美子 歴史学
- ・ 佐久間 寛 文化人類学, 経済学, アフリカ地域研究
- ・ 櫻田 涼子 文化人類学, 華僑華人研究, マレーシア研究
- ・ 常田 道子 文化人類学
- ・ 伏木 香織 文化人類学, 民族音楽学
- ・ 溝口 大助 文化人類学
- ・ 妙木 忍 社会学, ジェンダー研究, 観光研究
- ・ 山田 勅之 中国西南地域史
- ・ 渡部 良子 近代イラン社会・文化史
- ・ 張 盛開 漢語方言
- ・ 柳 宗伸 文化人類学, 日本文化研究
- ・ 林 虹瑛 漢語方言音韻論
- ・ ナラン 文化人類学, 環境人類学, モンゴル・中国研究
- ・ FERNANDEZ RODRIGUEZ, Rebeca 言語学
- ・ PYTLOWANA, Anna Katarzyna 言語学
- ・ RAGI CORDEIRO, Roberta Henriques 言語学

2009

- ・ 石森 大知 文化人類学, 太平洋地域研究
- ・ 市川 哲 文化人類学, 華人研究, トランスナショナリズム研究

- 今堀 恵美 社会人類学, 民族誌学
- 海老原 志穂 チベット語方言学
- 尾崎 俊輔 フランス移民史
- 辛嶋 博善 文化人類学
- 齋藤 久美子 歴史学
- 藤野 陽平 宗教人類学, 医療人類学
- 溝口 大助 文化人類学
- 妙木 忍 社会学, 観光研究
- 山田 勅之 中国西南地域史
- 渡部 良子 近代イラン社会・文化史
- 林 虹瑛 漢語方言音韻論
- FERNANDEZ RODRIGUEZ, Rebeca 言語学
- PYTLOWANA, Anna Katarzyna 言語学
- RAGI CORDEIRO, Roberta Henriques 言語学

2008

- 辛嶋 博善 文化人類学
- 藤野 陽平 宗教人類学, 医療人類学